

12	小	国 152
二葉		

教育部
資料室
新文部省検定済教科書
教育実践研究所編

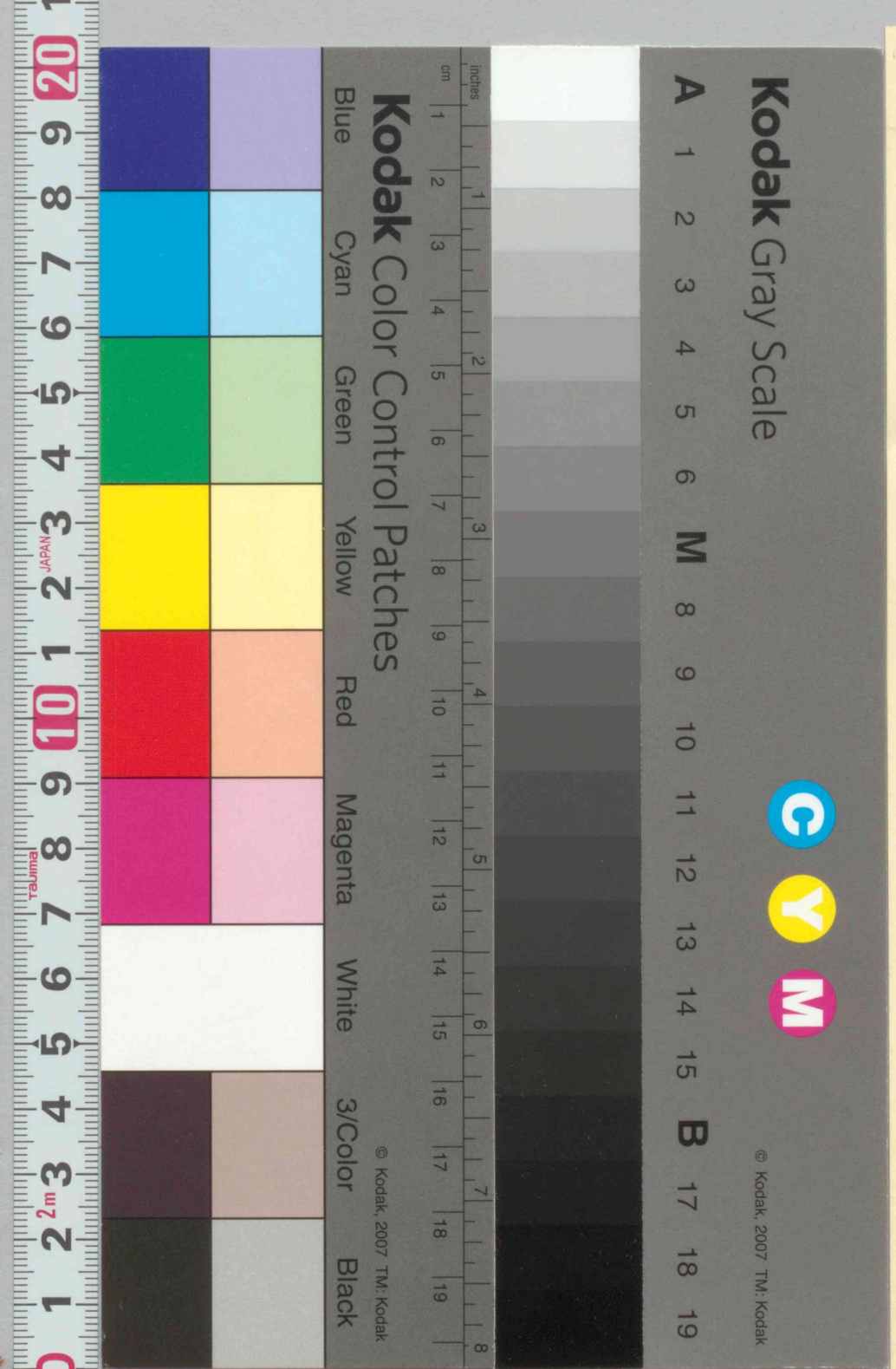
こくごのほん

教科書文庫
6
810
34-1950
0130449973



11 KC
F97

一年中



60143

教科書文庫

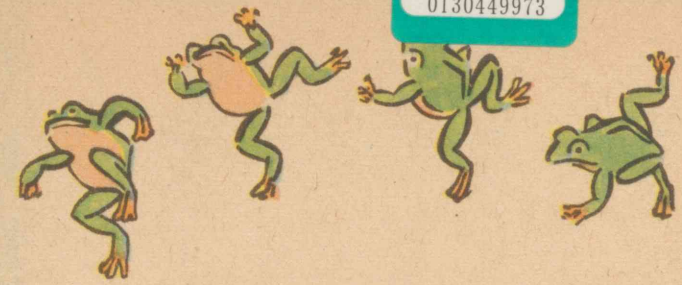
6
810
34-1950
01304 49973

555



教科書文庫
6
810
34-1950
0130449973

寄 贈



昭和二十五年
文部省
検定
月
日
小学校国語科用

広島大学図書

0130449973
[Barcode]

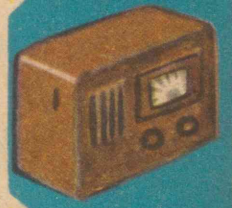
第一学年 中

こくごのほん



中央図書館

広島大学図書
0130449973
[Barcode]



もくろく

一 がっこう……………(4)

(一) へんじ……………(4)

(二) たまいれ……………(6)

(三) あてっこ……………(8)

(四) いけ……………(10)

(五) としょかん……………(12)

二 あい う え お……………(14)

(二) かあい とり ことり……………(14)

(二) いし kami はきみ……………(16)

(三) うさぎ うさぎ……………(18)

(四) えんどうのはな……………(20)

(五) おおきな こえて……………(22)

三 おはなし しましう……………(24)

(一) おはなし しましう……………(24)

(二) みんなのはなし……………(26)

四 あそびましう……………(30)

(一) ばらんこ……………(30)

(二) かぎぐるま……………(32)

(三) おにっこ……………(34)

五 目と みみ……………(39)

(一) つばめ……………(39)

(二) なぎこえ……………(42)

(三) ほし……………(44)

(四) ひよこ……………(46)

六 おしごと……………(48)

(一) はつかだいこん……………(48)

(二) おもり……………(52)

七 こがえるの

かけっこ……………(54)

八 ころちやんと

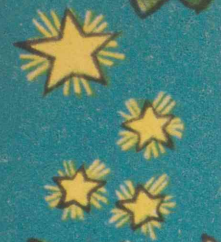
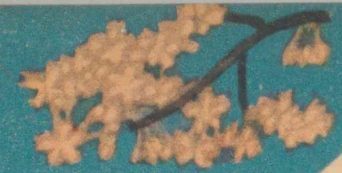
おうとばい……………(58)

おけいこの てびき……………(65)

五十おん……………(68)

あたらしくてたおもなことば……………(69)

かんじ……………(72)



— がっこう

(一) へんじ

なを

よびますよ。

「はい」といって、

すぐ たって

ください。

きよしさん。

はい。



つるこさん

はい。

あきらさん。

はい。

みつこさん。

はい。

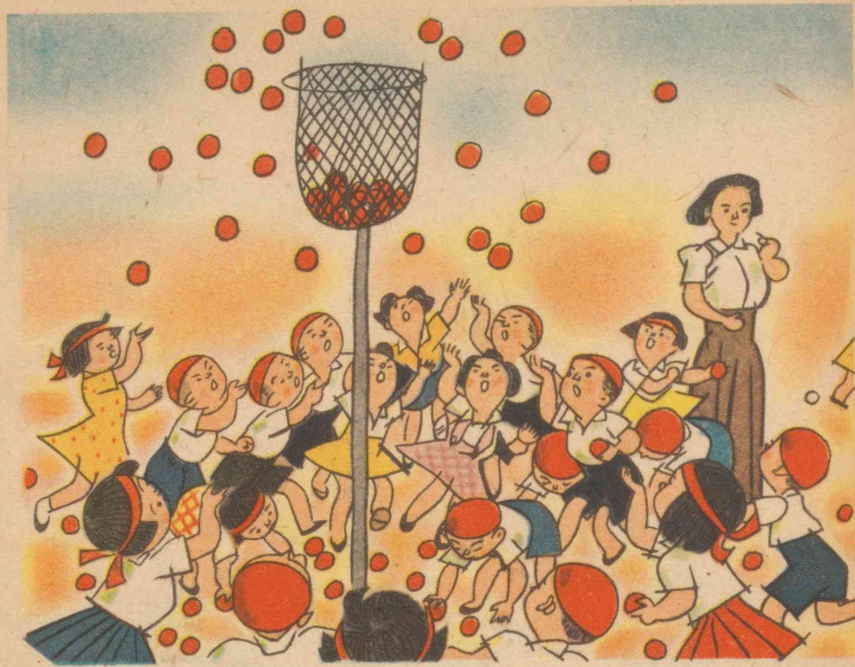
たかしさん。

はい。

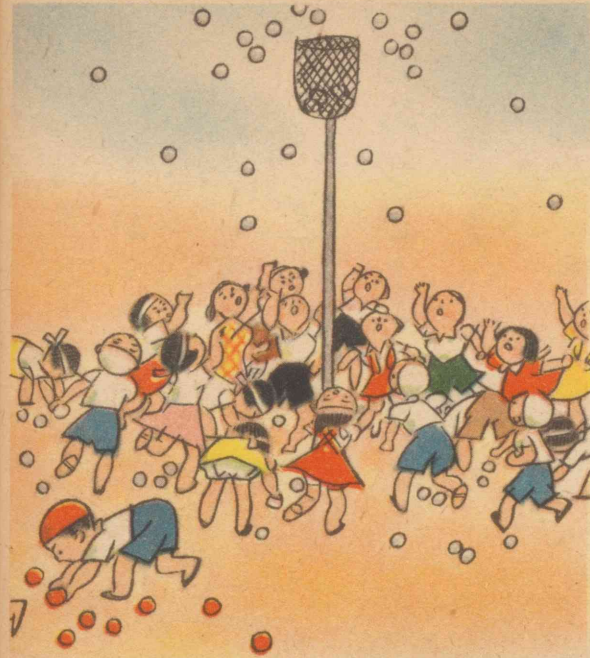
はなこさん。

はい。



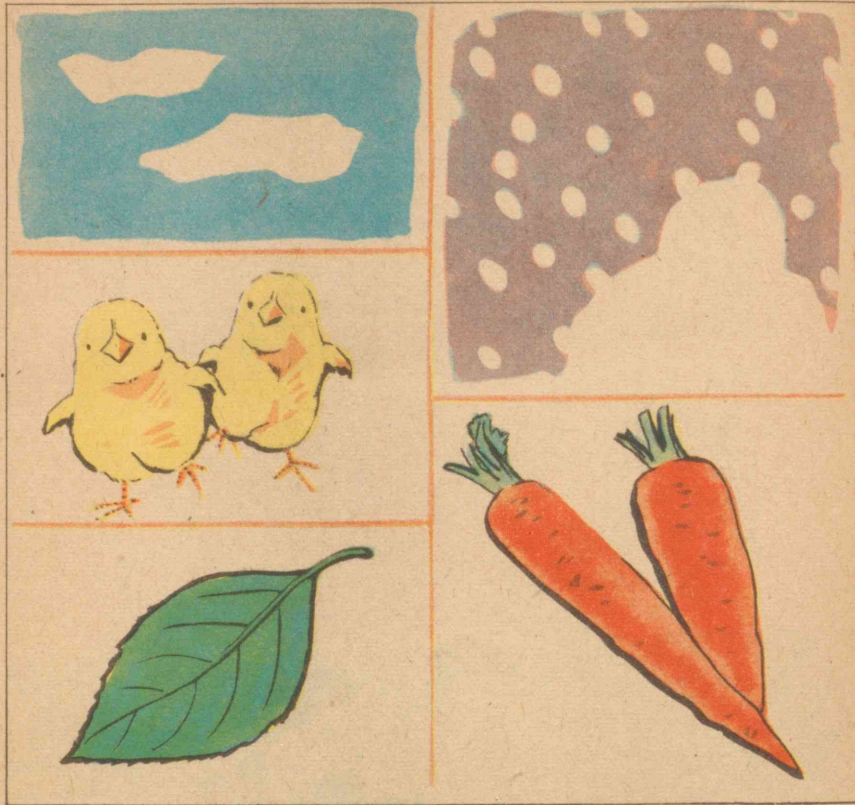


あか かくて、
 しろ かくて、
 そら いろろ。
 あかい たま、
 あかい たま、
 あかい たま、
 しろい たま。



(二) たまいれ

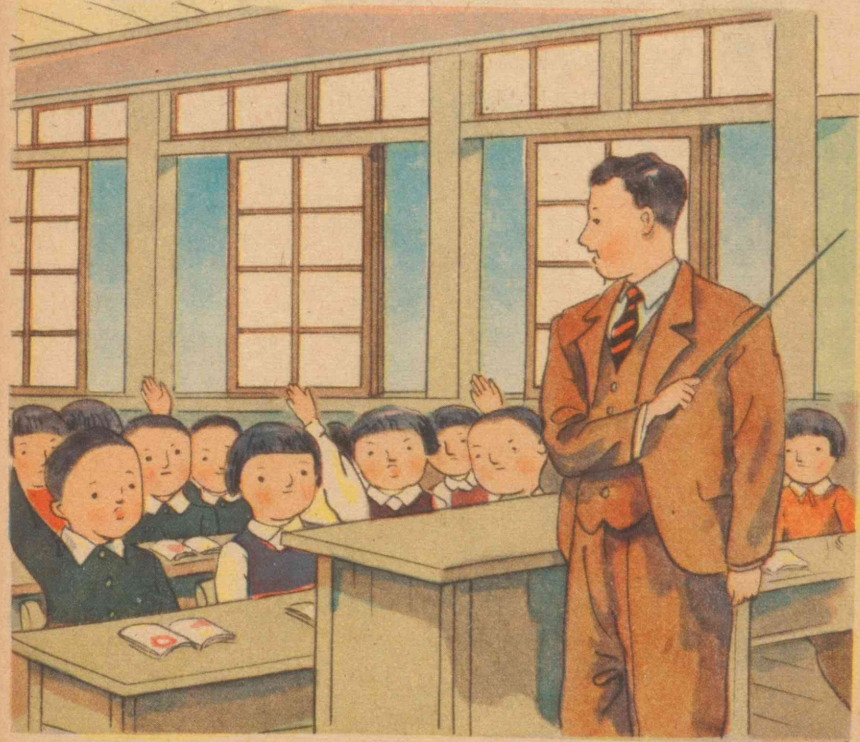
たまいれ
 たまいれ
 ようい、どん。
 あかい たま、
 しろい たま、
 しろい たま、
 あかい たま。



(三) あてっこ

もの
なを
いいます。

はやく
いろを
あてて
ください。



ゆき。
しろ。

にんじん。
あか。

ひよこ。
きいろ。

そら。
あを。

はっぱ。
みどり。

(四) いけ

いけには、

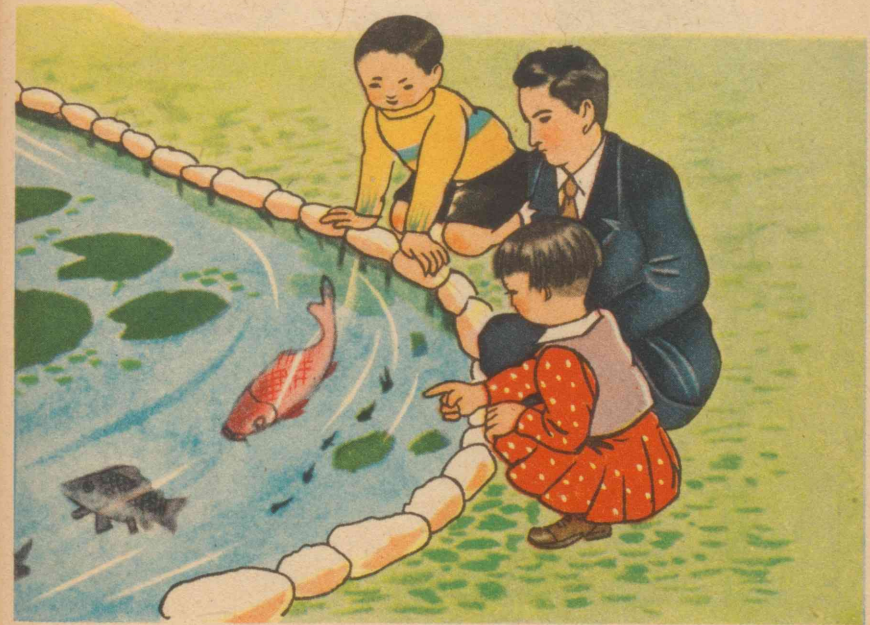
なにが

いますか。

こいが います。

ふなが います。

めだかが います。



しまには、

なんの きが

ありますか。

まつが あります。

つばきが あります。

つつじが あります。



(五) としよかん

がっこうの
としよかんには、
おもしろい ほんが
たくさん ある。



えほんが ある。
ざっしが ある。
おはなしの ほんも ある。

ぼく、
がっこうの
としよかんが
だいすき。



二 あい う え お

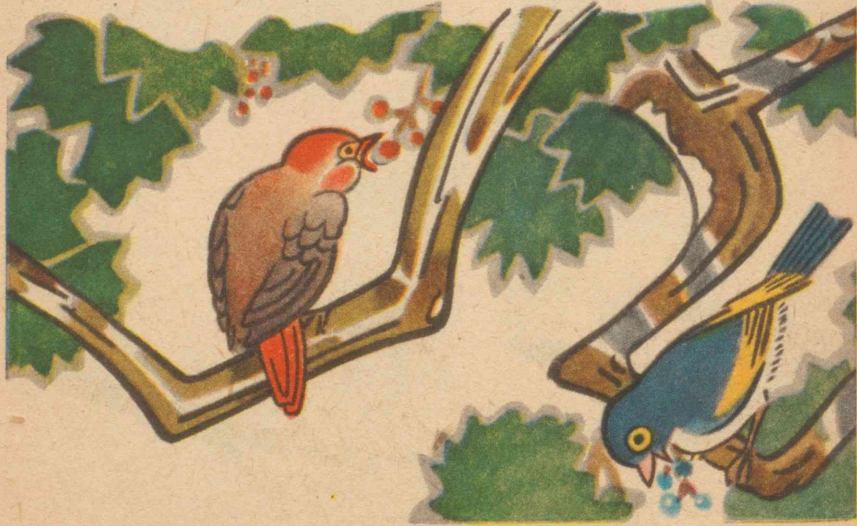
(一) あかい とり ことり

あかい とり、ことり、
なぜ なぜ あかい。
あかい みを たべた。



しろい とり、ことり、
なぜ なぜ しろい。
しろい みを たべた。

あおい とり、ことり、
なぜ なぜ あおい。
あおい みを たべた。



(二) いし かみ はさみ

いし
かみ
はさみで、
じゃんけんぽん。

もう



いいかい。
まあだだよ。

もう

いいかい。
まあだだよ。

もう

いいかい。
もう
いよいよ。

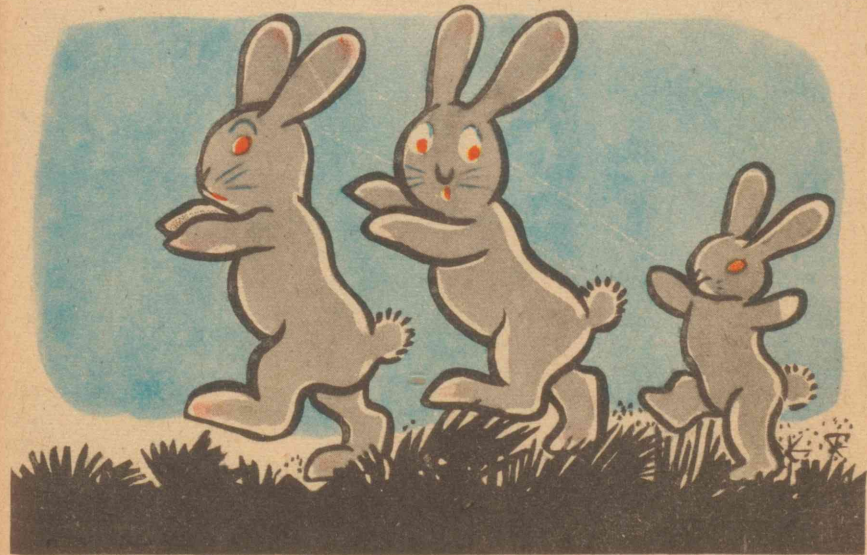




十五や
おつきさま、
みて
はねる。

うさぎ、
うさぎ、
なに
みて
はねる。

(三) うさぎ、うさぎ



(四) えんどうの はな

えんどうの
はなは、
えんどうの
みになる。



ひなたの
はたけ、
ちようちよか、
はなか。

えんどうの
はなは、
はやく
みにな
あれ。



(五) おおきな こえて

おおきな こえて、

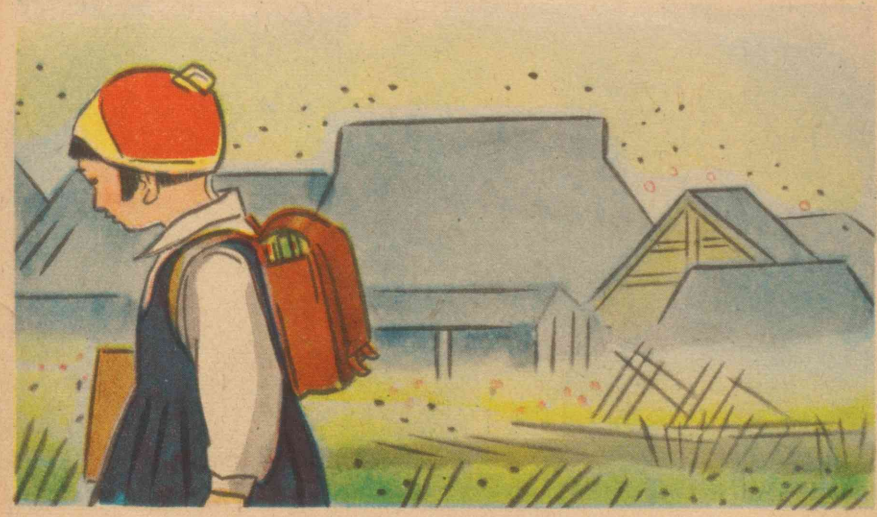
「あきらさあん。」

「きよこさあん。」

おともだちが、

さそいに きました。

おおきな こえて、



「はあい。」

「はあい。」

らんどせるを、

ぽいと しょいます。

おおきな こえて、

「いって まいます。」

「いって まいます。」

はるかぜに のって、

がっこうへ いそぎます。



三 おはなし しましよ

(一) おはなし しましよ

おはなし しましよ。

はなが さく。

はい はい、しましよ。

とりが なく。

ごむまり はずんで、

はなの かげ。

こねこも きいてる、

とりの こえ。

ままごと しました、

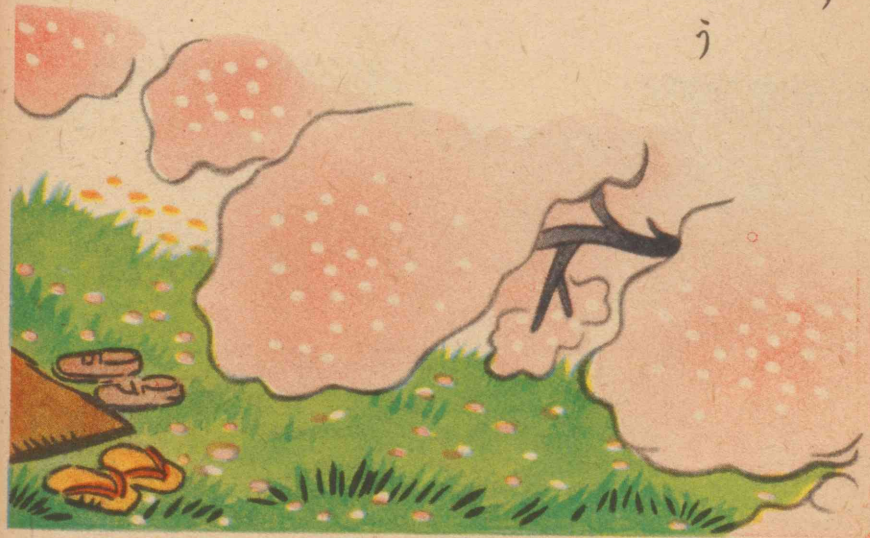
はなの した。

とりは いつでも、

なかが よい。

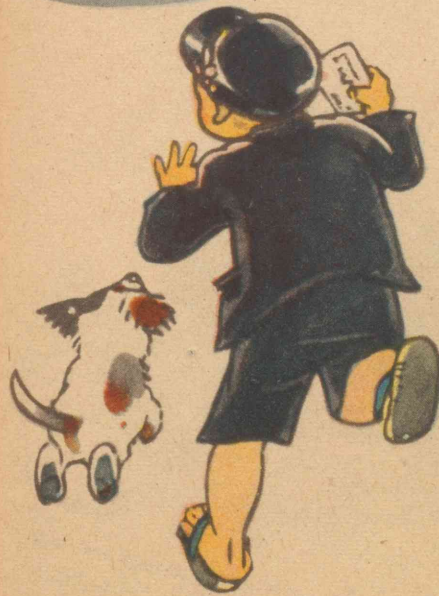
おはなし する こと、

あそびましよ。





きのうは えんそくで、ま
 るやまへのぼりました。
 まちが みえました。がっ
 こうが みえました。
 きしやが、てつきようを
 とりました。
 しげるさんのおむすびが、
 ころころところがりました。



おとうさんの てがみを だしに
 ぽちと いっしょに、
 かけて いきました。
 いきました。

(二) みんなのはなし



しゃぼんだまを とばして あそびました。
 やねより たかく あがりました。



きょうの きゅう"
 しょくは、くじらの
 にくでした。
 せんせいが、くじ
 らの おはなしを
 して くださいま
 した。



四 あそびましよう

(一) ぶらんこ

ぶらんこに のって、
ぶらん ぶらんと
ふりました。

かきねの

さくらまで
ふりました。

むこうの やまが、
したに なるほど
ふりました。

かぜと いっしょに、
ぶらん ぶらんと
ふりました。



(二) かざぐるま

ぼくの つくった
かざぐるま。
くる くる くる くる、
よく まわる。

一 二の 三で



かけだした。
きいろい ちょうちよも、
おいこした。

まわる まわる
かざぐるま。
くる くる かぜ きって、
よく まわる。





(三) おにごっこ

あきらさんは、わあっと 行って、さくらの 木の
かげに かくれました。

おにの としちゃんは、むこうへ にげて いく 人
を、おっかけて います。

あきらさんは、さくらの 木に つかまって、それを
みて いました。

おには、きゆうに むきを かえて、どンドン こっ



きして います。
 「おにさん こちら。」
 と いいながら、ごうれい
 だいの うえに あがって
 みて いると、みいちゃん
 が、とうとう つかまりま
 した。
 その とき、みいちゃん
 は、ぺたっと しりもちを
 つきました。あきらは、

ちへ かけて きます。あきらは、ちいさく なっ
 て 木の かげに かくれました。
 手を だして、
 「おにさん こちら、おにさん こちら。」
 と いったら、おには、かおを まっかに して、かけ
 て きました。
 あきらは、ごうれいだいへ とんで きました。
 ぶりむいて みると、おには、うんどうばの まんな
 かで、ほかの 人を おっかけて います。
 あきらは、むねを なでました。むねが どきど

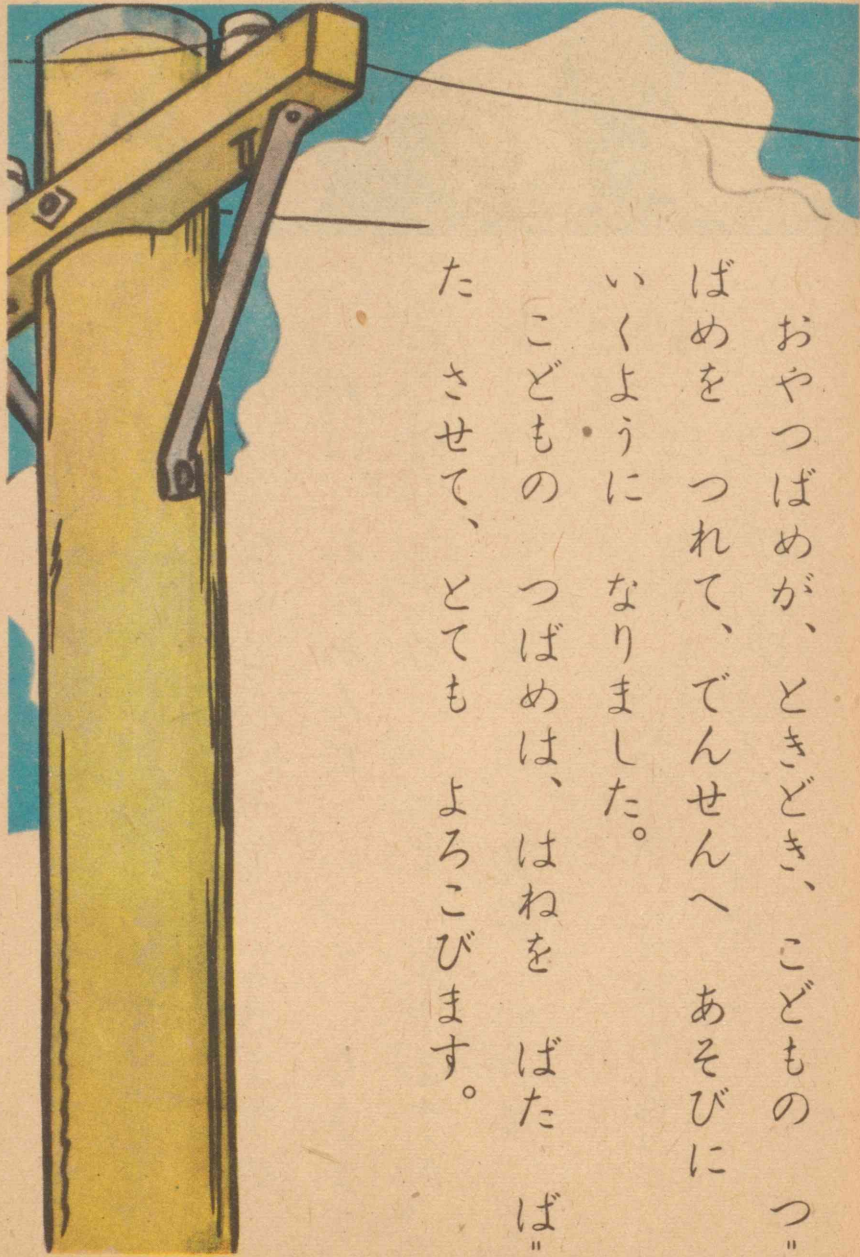


おかしく なって、わらいだしました。
 お日さまは、きらきらと うんどうばを てらして
 います。
 せんせいは、さつきから、にこにこ しながら みて
 いらっしゃいます。
 おにの としちゃんは、かおを まっかに して、おっ
 かけて います。
 あきらさんは、たかい ごうれいだいの うえで、お
 もしろいなあと おもいました。

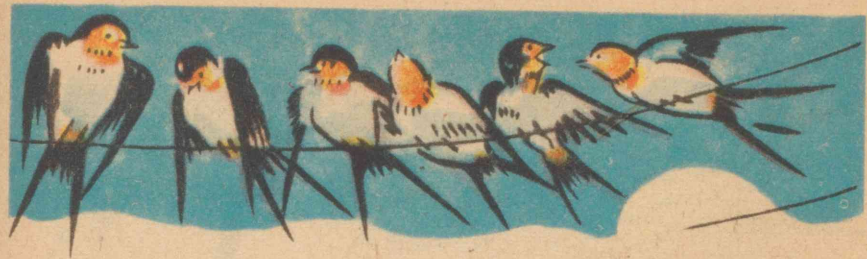
五 目と みみ

(一) つばめ

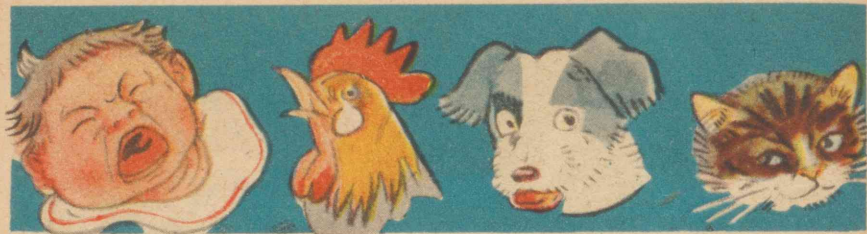
つばめが、おうちの まどの
 上に、すを つくりました。
 こどもが、たくさん うまれ
 ました。
 おやつばめは、ちゅう ちゅう
 ちゅうと ないて、よろこ



おやつばめが、ときどき、こどものつばめをつれて、でんせんへあそびにいくようになりしました。
こどものつばめは、はねをばたばたさせて、とてもよろこびます。



びました。
おやつばめは、まいにち、おもてへむしをとりにてていきます。
こどものつばめは、みんなでなかよくおるすばんをします。
おやつばめがかえると、こどものつばめは、ちゅうちゅう、ばたばたと、おおさわぎをしてよろこびます。



ますか。
 では、ぼうやは、なんと いった なき
 ますか。
 ぼうやは、なかない。
 そうです。ぼうやは、いい こだから
 なきません。



(二) なきごえ
 いぬは、なんと いった なきますか。
 いぬは、わんわんと いった なきます。
 ねこは、なんと いった なきますか。
 ねこは、にゃあ にゃあと いった な
 きます。
 うしは、もうもう。
 うまは、ひんひん。



と、おんなのこが いました。
ほしは、おんなのこのところへいつ
て やりたいと おもいました。
たかい そらから とびおりて、おんな
のこのところまで おちました。
でも、ほしは、下まで おちて いけま
せんでした。
すうっと きえて しまいました。
「ああ、ながれぼし。」
と、おんなのこは いました。



(三) ほし

きら きら きら きら、ほしが そら
で ひかって いました。
「きれいな きれいな おほしさま、ここ
へ おりて きて ちょうだい。」

(四) ひよこ

きいろい ひよこが、五わ かえりました。
おやどりの はねの 下から、ちいさい くびを だ
して、ぴよ ぴよと ないて います。
ひよこが、おやどりと いっしょに、にわへ でて
きました。

ほそくて、やわらかな あしです。

おやどりの あたまを つついたり、とさかを ひっ

ぱったり して います。

むしが とんで きて、あ

たまの 上を とおると、の

びあがって みて います。

きのうは、からに なった

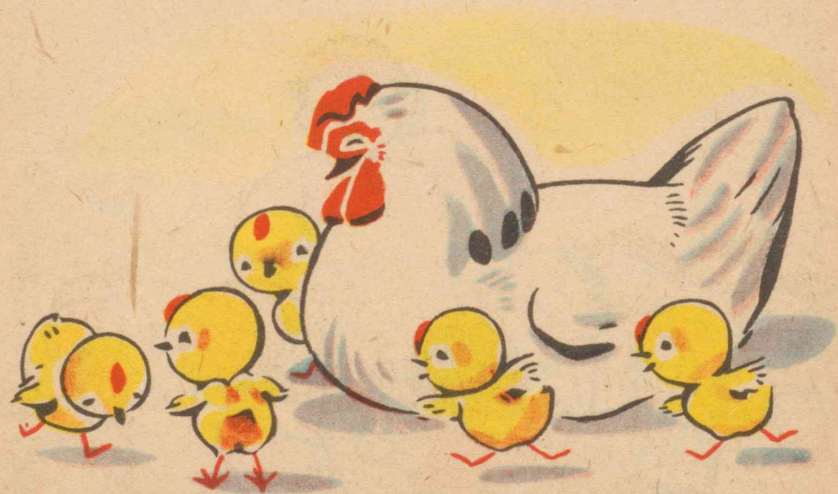
えばこの なかに はいって、

ひるねを して いた ひよ

こが いました。

ぴよ ぴよと ないて、ど

ても にぎやかです。



六 おしごと

(一) はつかだいのこん

「きょうは、はつかだいのこん
をとります。」

と、せんせいが おっしゃい
ました。

みんな、手を たたいて



よろこびました。

せんせいは、はたけの ほうを むいて、

「はつかだいのこんは、こんなに 大きく なりました。」

と、うれしそうに おっしゃいました。

みんな、はたけの ほうを みました。

どの はたけにも、はつかだいのこんが、きょうぎ よ

く 三れつに ならんで います。

あおい はっぱの 下から、あかい かおを だして
いるのも あります。

「はつかだいのこんの たねは、いつ まきましたか。」

みんな、かおを みあわせました。
「五がつの はじめでしたね。きょう」
は 三十九にちめです。その あい
だに、みなさんは、どんな せわを
したでしょう。」

「はい、はい。」

みんな 手を あげました。

「こやしを やりました。」

「くさを とりました。」

「まびきを しました。」

せんせいは にこにこして、

「そうです。みなさんが、よく せわ
を したので、こんなに 大きく
なりました。きょうは、これを ぬ
いて、おうちへ もって かえるの
です。」

と、おっしゃいました。

みんなは、ぱちぱちと 手を たた
きました。



(二) おもり

とまとを たべてから、
ひろちゃんを おんぶ しました。
とまとばたけへ いったら、
あかい とまとが
みえました。
「あとで とろろね。」

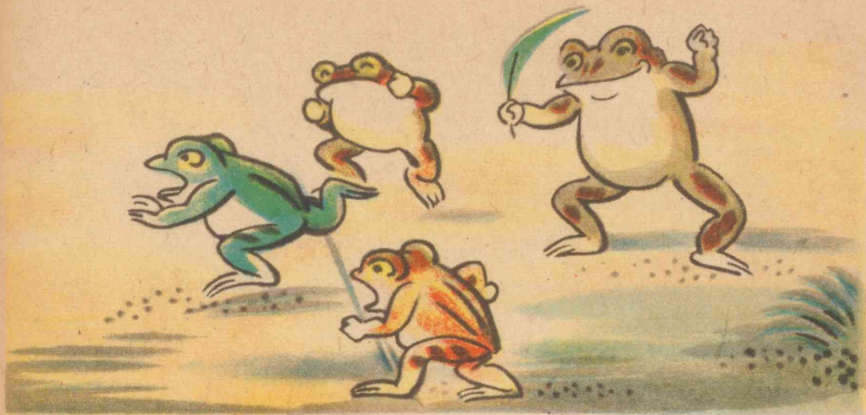


と、ひろちゃんに
いいました。
ひろちゃんは、
いつの まにか、
ぼくのかたに
もたれて、
すう すうと
ねて いました。

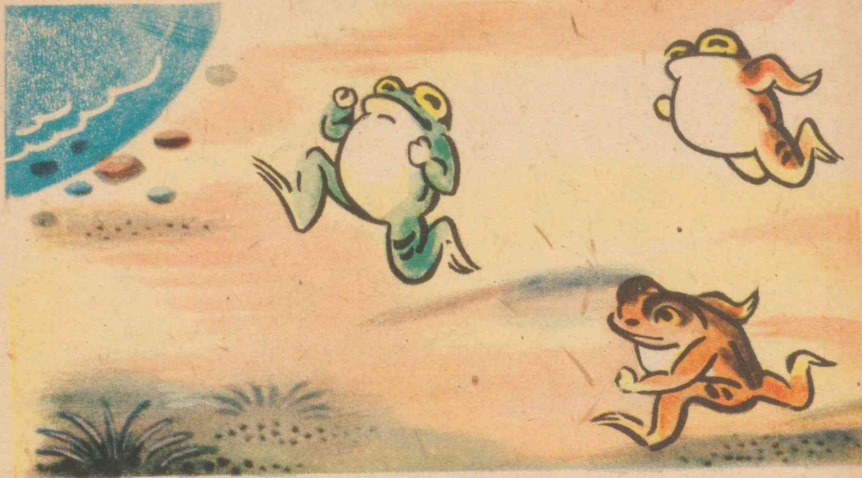




「よいいは よいか。」
 と、とうさんがえるが いいました。
 「一」
 と、ごうれい かけました。
 すると、一ぴき かけだしました。
 「だめ、だめ、はやい。」
 と、とうさんがえるが いいました。
 「一」
 と、ごうれい かけました。
 「二」



七 こがえるの かけっこ
 こがえるが、三ぴき いました。
 かけっこ しようと いいました。
 とうさんがえるが ごうれいかけ
 です。
 「一 二 三で かけるのだ。」
 と、とうさんがえるが いいました。
 こがえるどもは ならびました。



と、ごうれい かけました。
 「三。」
 と、ごうれい かけました。
 いっしょに みんな かけだ
 しました。ぴよんぴよん ぴよ
 んぴよん かけて いきます。
 川の きしまで いくのです。



と、ごうれい かけました。
 べつな 一ぴき かけだしま
 した。
 「だめ、だめ、はやい。」
 と、とうさんがえるが しいま
 した。
 こがえるどもは ほんきです。
 ならんで よういをして
 います。
 「一。」 「二い。」



いけませんよ。」
と、いって、とめる。ものは、あ
りませんでした。
ころちゃん、なまえのように、
おにわを、ころころと、あるきま
した。
お日さまが、ころちゃんの、か
らだじゆうを、くすぐりました。
きもちが、よくて、ころちゃんは、
ころころ、ぴんぴん、はねました。

ハ　ころちゃんと　おうとばい

いぬころの　ころちゃ
んは、みかんばこの　お
うちから、ちよこちよこ
と、そとへ　でました。
おかあさんいぬが、お
るすです。だあれも、
「とおくへ　いっては、





かおを ひっこめようと し
ました。はっぱが たくさんで、
くびを しめました。かおが
うごかせません。しろい ほこ
りが、かおに いっぱい かか
りました。
ころちゃんは、きゃんきゃん
きんきんと、なきごえを たて
ました。はっぱの なかで、く
びを くるくる くるくると

ころちゃんは、はっぱの たくさん しげった かき
ねを みつけました。
「おもしろそうだから のぞくんだ。」
ころちゃんは、はっぱの なかへ、くびを いれま
した。

その とき、ぶうぶう どっどっどっどっど、じひび
きが しました。ぴかぴか ひかる ものが、くるくる
びゅうんと 目の まえを とおりすぎました。
ころちゃんは、ぶるぶるっと ふるえました。きゃあ
んと なきごえを たてました。

まわして いました。そこへ おかあさんいぬが、とん
で きました。

「まあ、まあ、ころちゃんたら、ひとりで こんなと
ころへ きたの。かきねに くびが はまったのかわ。」
「きやん きやん、きん きん。」

「あの ぶうぶうは、おうとばいと いうのよ。」

「きやん きやん、きん きん。」

「いまに、ころちゃんが 大きく なったら、あれと

かけっこ するのよ。」

「きやん きやん、きん きん。」

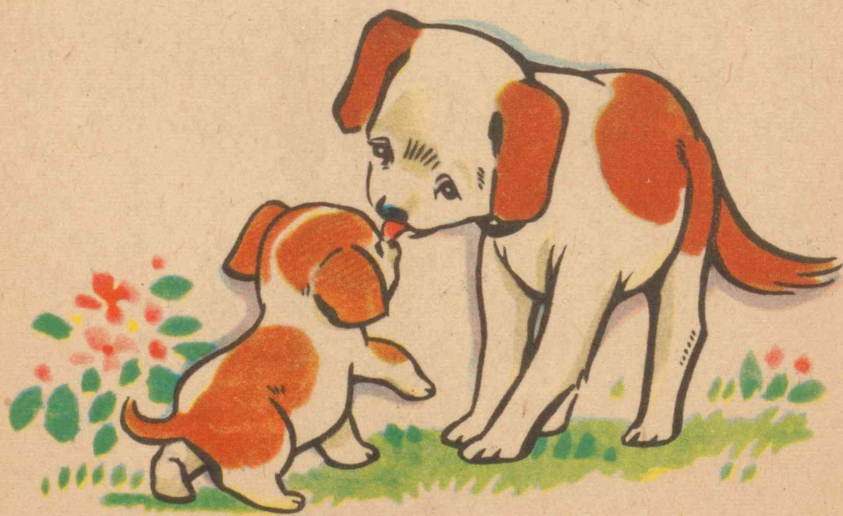
「どう したの。どう したの。」

「きやん きやん、きん
きん。」

「ほこりが お目目には
いったのね。」

「きやん きやん、きん
きん。」

ころちゃんは、おかあさん
に、お目目を なめて



もらいました。

「ぼうやは、おうとばいと、いうのが、こわいから、な
いて、いるんじゃないよ。ほこりが、お目目には、
いったから、ね、おかあさん。きやん、きやん、きん
きん。」

そう、いって、ころちゃんはまだ、すこうし、なき
じゃくりをして、いました。



おけいこのてびき

このほんは、おもしろい、ほんです。お
もしろい、ことばの、うみです。この、うみ
に、ふねを、うかべて、みんなで、あそんで
ください。

この、ほんを、もとに、して、きいたり、は
なしたり、よんだり、かいたり、して、よく
できる、ことにも、なりましょう。

一、がっこう

(一) へんじ

えを、みて、はなしあきましょう。おとも
だちの、おはなし、するのを、ききましょう。
はつきりと、した、こえて、なんべんも
よみましょう。

うたえる、ものは、うたい、おはなしあそ
びになる、ものは、あそびましょう。

えも、かきましよう。かあとに、えと、も
じを、かいて、きれいな「もじばん」をつ
くりましよう。えのは、いった、おはなしを
かきましよう。

おともだちと、がっこうごっこを、して
いる、ところでは、わかるがわる、せんせい、
になって、おともだちの、なまえを、よぶ、
と、みんな、げんきよく、たって、
「はい。」「はい。」
と、へんじを、します。

おともだちと、このような、あそびを、し
て、みましよう。
いつでも、なまえを、よべたら、「はい。」と

はっきり へんじを しましょう。

(二) たまいれ

あかと しろに わかれて、おもしろい
たまいれごっこを して います。

げんきよく よんで ください。げんきよ
くおうえん しましょう。

うんどうばで あそんだ ことを おはな
し しましょう。

(三) あてっこ

いろを あてっこ する あそびです。こ
のほかに、おもしろい あてっこを かん
がえて、おともだちと して みましょう。

(四) いけ

がっこうの にわに どんな ものが あ
りますか。さかなや、きの なまえの ほか、
はな、とり、けものなど、いろいろなもの

の なまえを あつめて みましょう。

(五) としよかん

としよかんには、なにが ありますか。み
なさんは、どんな ほんを よんで います
か。よんだ ほんの ことを おはなし し
て みましょう。

二 あい う え お (おもしろい おど
の もと)

(1) おおきな こえて よみましょう。

(2) えの おはなしを、みましょう。

(3) (一) あかい とり こどり (三)
うさぎ うさぎを うたいましょう。

(4) (二) いし かみ はさみは、あそび
ましょう。

(5) (四) えんどうのはな、(五) おお
きな こえては、そらで いえるまで

よみましょう。

(6) あ い う え おを、おおきな こ
えて はっきりと 行って みましょう。

それから、えんぴつで、きれいに かき
ましょう。

(7) あ い う え おの、いつつの お
とは、にほんの ことばの、もとな

ります。

三 おはなし しましょう。

(二) おはなし しましょう。

(1) なんべんも よみましょう。

(2) ひどすじずつ、ちがった ひどで よ
みまわしましょう。

(二二) みんなの はなし

(1) どんな はなしを したか、えを み
て 行って ごらんください。

(2) えと おはなしを うつしましょう。

(3) じぶんで、えと おはなしを、つくり
ましょう。

四 あそびましょう。

(三三) おにごっこ

(1) だれが、はじめに おにに なりまし
たか。

(2) あそんだ はなしを して ください。

五 目と みみ

(1) 目で、なにを くわしく みましたか。

(2) みみで、なにを ききましたか。

六 おしごと

おしごとの はなしを して ください。

八 ころちゃんど おうとばい

ころちゃんが、おしまいに いった こ
とばを そらで 行って みましょう。

あいだ
あおい
あかい
あがる
あし
あそび(ましよう)
あたま
あてっこ
あります
いきました
いけ
いそぎ(ます)
いっばい

61 23 10 26 11 8 46 25 46 28 6 15 50

いろ
うえ
うまれ(ました)
うち
おかし
おしごと
おち(て)
おっかけ(て)
おつきさま
おともだち
おはなし
お日さま
おほしさま

44 38 13 22 19 34 45 48 38 39 39 37 8

おもい(ました)
おもしろい
おり(て)
おんな
かえり(ました)
かお
かくれ(ました)
かけ(て)
かげ
かぜ
かた
かて
かみ

16 7 53 31 24 26 34 36 46 45 44 12 38



あたらしく
でた
おもな
ことば

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	あ	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お



ぱ	ば	だ	ざ	が
び	び	ぢ	じ	ぎ
ぶ	ぶ	づ	ず	ぐ
ぺ	べ	で	ぜ	げ
ぽ	ぼ	ど	ぞ	ご

ぴ	び	ぢ	じ	ぎ	り	み	ひ	に	ち	し	き
や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や
ぴ	び	ぢ	じ	ぎ	り	み	ひ	に	ち	し	き
ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ	ゆ
ぴ	び	ぢ	じ	ぎ	り	み	ひ	に	ち	し	き
よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ	よ

で(て) 40
とおりました 27
とき 37
ときどき 41
ところ 45
としょかん 12
とても 41
とばし(て) 29
とめる 59
とん(て) 36
ない 64
なか 47
なか(がよい) 25
なき(ます) 42
なで(ました) 36
なまえ 59

59 36 42 25 47 64 36 59 29 41 12 45 41 37 27 40

なめ(て) 63
ならん(て) 49
なる 20
にぎやか(です) 47
にく 28
にげ(て) 34
にわ 46
にんじん 9
ぬい(て) 51
ね(て) 53
のぞく 60
のっ(て) 23
のぼり(ました) 27
はいっ(て) 47
はさみ 16
はじめ 50

50 16 47 27 23 60 53 51 9 46 34 28 47 20 49 63

はたけ 21
はっぱ 9
はな 20
はね 41
はねる 18
ひかつ(て) 44
ひとり 62
ひよこ 9
ふな 10
ふり(ました) 30
ふるえ(ました) 60
べつな 56
へんじ 4
ぼく 13
ほそい 27
ほん 12

12 27 13 4 56 60 30 10 9 62 44 18 41 20 9 21

川 57
き(木) 11
きいろ 9
きい(てる) 25
きえ(て) 45
きつ(て) 33
きのう 27
きよう 28
きれいな 44
くさ 50
くさい 4
くび 46
こい 10
こども 39
ことり 14
ころがり(ました) 27

27 14 39 10 46 4 50 44 28 27 33 45 25 9 11 57

こわい 64
さつき 38
ざっし 13
した 25
しま 11
しまい(ました) 45
しめ(ました) 61
しよい(ます) 23
しろい 6
すぐ 4
する 25
せわ 50
そと 58
だいすき 13
たかく 29
たぐさん 12

12 29 13 58 50 25 4 6 23 61 45 11 25 13 38 64

たたい(て) 46
たつて 4
たて(ました) 61
たね 49
たべ(た) 14
たまいれ 6
だめ 55
ちいさく 36
つかまつ(て) 34
つき(ました) 37
つくつ(た) 32
つつじ 11
つばき 11
つれ(て) 41
てがみ 26

26 36 41 11 11 32 37 34 36 55 6 14 49 61 4 46

新井五郎 上田三郎 川上四郎
小林和郎 富永秀夫 野水昌子
林義雄 藤沢龍雄 松井末雄

えを かかれた ひと
ぶんを つくられた ひと
二 (一)あかい とり ことり……北原白秋
二 (三)うさぎ うさぎ……民謡
五 (二)なきごえ……平塚武二
五 (三)ほ し……平塚武二
七 こがえるの かけっこ……浜田広介
八 ころちやんと おうとばい……与田準一
ほかの ぶんは、へんしゅうぶと、じど
うのもの。

Approved by Ministry
of Education
(Date Apr. 6 1950)

発行所 二葉株式会社

東京都北区稻付町一丁目二〇八番地

印刷者 二葉株式会社

東京都北区稻付町一丁目二〇八番地

発行者 二葉株式会社

東京都北区稻付町一丁目二〇八番地

著作者 西原慶一 泉 節二

山下正雄 飛田多喜雄

小山玄夫 斎田 喬

定価 円 銭

昭和二十五年四月六日印刷
昭和二十五年四月十日発行
(昭和二十年 月 日 文部省検定済)

こくごの ほん 一 (小学校第一学年中期用)

まいにち	40	み(て)	18	もっ(て)	51
まつ	11	みどり	9	やね	29
まっかに(して)	36	みみ	39	やわらかな	46
まど	39	むい(て)	49	ゆき	9
まわる	32	むね	36	よろい	6
みえ(ました)	27	目	39	よび(ます)	4
みつけ(ました)	60	めだか	10		
二 (14)		三 (18)		四 (20)	
人 (34)		七 (54)		五 (19)	
大 (49)		九 (50)		六 (34)	
		川 (57)		上 (39)	
		目 (39)		下 (45)	
		八 (58)			



なまえ

広島大学図書

0130449973



二葉株式会社